

下地補修ができる高浸透型防水工法

# HI-SPECシール工法

(CPタイプコンクリート舗装用)

水性エポキシ系 高浸透型床版防水材料



## オールインワン型防水材料 6つの特徴

1 高い防水性

2 ひび割れ補修効果

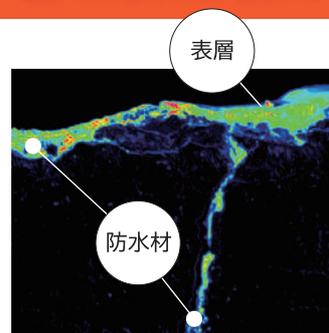
3 コンクリート舗装上に塗布

4 施工性が良い

5 高い耐摩耗性とすべり抵抗性

6 VOC (揮発性有機化合物) を完全に不使用

優れた浸透性を発揮



ひび割れに含浸している様子  
コンクリート断面 (EPMA画像)



コンクリート舗装の上に施工できます



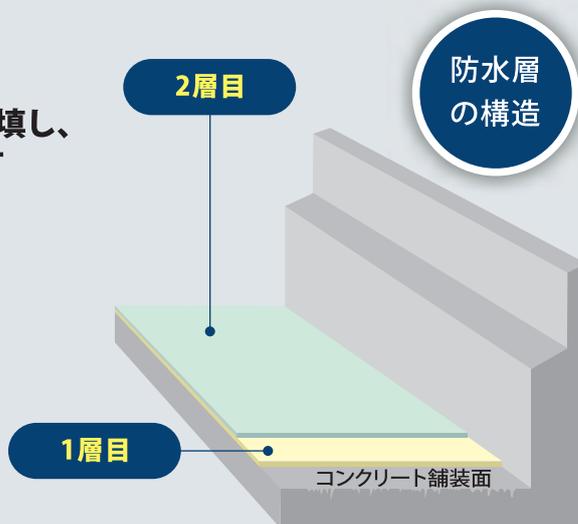
防水層が最終仕上げ層となります

# HI-SPECシール工法 (CPタイプ)

## コンクリート舗装用 高浸透型床版防水材

### 特長

- 1 低温化でも極低粘度(10~20mpa・s)の水性エポキシ樹脂で高い防水性を発揮します
- 2 幅0.1mm~2mm程度のひび割れに対して浸透・充填し、コンクリート舗装表面のひび割れを補修します
- 3 コンクリート舗装表面に塗布します
- 4 施工性がよく、早期の交通解放が可能です
- 5 耐摩耗性、すべり抵抗性に優れています
- 6 VOCを一切使用しない、完全な水性塗料です



### ■主成分

① HI-SPECシールL (CPタイプ) 【液体】
主 剤 … 水性エポキシ樹脂 硬化剤 … 脂肪族ポリアミン
② HI-SPECシールP 【粉体】
ポルトランドセメント、結晶性シリカ

### ■性状

項目	HI-SPECシールL (CPタイプ)		HI-SPECシールP
	主 剤	硬化剤	
荷 姿	18kg/缶・4kg/缶		8kg・18kg/箱
性 状	液体	液体	固体 (粉体)
密 度	1.1	1.0	0.8
PH	8.5	9.5	10.8
可使時間	混合後2時間程度		—
有機溶剤の使用	なし	なし	なし
消防法による危険物区分	非危険物	非危険物	非危険物

### ■標準塗布量

1層目	HI-SPECシールL (CPタイプ) を塗布する 0.25kg/m <sup>2</sup> 主剤:硬化剤 = 1:1 重量比
2層目	HI-SPECシールL (CPタイプ) と HI-SPECシールPを混合攪拌したものを塗布する 0.8kg/m <sup>2</sup> L主剤:L硬化剤:P=1:1:2 重量比

※床版面の凹凸の状態によっては、現場で2層目塗布量のキャリブレーションを実施してください(5~20%増量)

### ■HI-SPECシール (CPタイプ) 試験結果報告

項目	単位	基準値	試験値	試験方法(引用元)
防水性試験 I	ml	0.2以下	0.0	道路橋床版防水便覧
すべり抵抗性 <sup>(※1)</sup> (水浸WT負荷前/負荷後)	BPN	60以上	75/68	舗装施工管理要領 舗装設計施工指針
路面標示塗料との接着性 (23℃) <sup>(※2)</sup>	N/mm <sup>2</sup>	なし	3.0	建研式引張試験

備考  
 ※1・すべり抵抗性試験については、振り子式スキッド・レジスタンススタタにより測定  
 ※2・参考 引張接着試験 基準値(道路橋床版防水便覧・23℃)…0.6 N/mm<sup>2</sup> 以上

※気候条件、環境条件によっては硬化促進材が必要な場合があります。使用方法等につきましては、弊社技術部までお問い合わせ下さい。



持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

アイゾールテクニカは、事業と最も関連の深い目標11「住み続けられるまちづくりを」をSDGs目標の達成とし、**VOC排出抑制**に取り組んでまいります。

環境省 すべての企業が持続的に発展するために 持続可能な開発目標 (SDGs) 活用ガイド 資料編 (第2版) (令和2年3月)

### ■製造元/発売元 (お問い合わせ窓口)

## 株式会社アイゾールテクニカ

TEL 075-757-8199 MAIL info@isol.co.jp  
HP https://www.isol.co.jp



HI-SPECシール工法 (CPタイプ) 製品情報



アイゾール製品 各種施工動画

本カタログは、作成時点で入手した最新情報、データを記載していますが、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、予告なしに必要なに応じて改訂させていただくことがあります。